

☆ 管内 3 市合同新型インフルエンザ等対策訓練を実施しました

6月28日（木曜日）、南多摩保健所では、新型インフルエンザ等の発生に備え、管内3市（日野市・多摩市・稲城市）と合同でマスクフィットテスト及び防護服着脱訓練を実施しました。当日は、保健師学生2名を含む18名が参加しました。



最初に感染症対策担当職員による講義を行った後、※N95 マスクフィットテストを行いました。マスクからの空気の漏れ率を測定する装置を使い、6種類のN95 マスクの中から自分に合ったマスクを確認し、正しいマスクの付け方を学びました。マスクフィットテストには当保健所職員37名も参加しました。



次に、感染症対策担当職員による手順の説明・指示に沿って、実際に防護服の着脱を行い、着る時のコツや脱ぐ時に注意すべきポイント等を確認しました。また、防護服を着た状態で所内を歩き、着用時の息苦しさや暑さを体験しました。

参加者からは、「着るよりも脱ぐ方が神経を使い、難しいことが分かった」「実際に着脱することで、清潔な部分と汚染された部分を意識する大切さを理解することができた」などの感想がありました。

当保健所では、今後も各関係機関と連携し、平常時の準備を着実にを行うとともに、新型インフルエンザ等が発生した際に、迅速、的確、安全に対応できるよう取り組んでいきます。

※ N95 マスク：感染症の飛沫核を吸入しないようにするためのマスクで、 $0.3\mu\text{m}$ の微粒子の捕集率が95%以上あり、結核やSARS等の感染症防止として使用される。